



(題字は、大松八尾市長)

発行所
 八尾市消防団
 発行責任者
 八尾市消防団長
 松村 康正
 八尾市高美町5-3-4
 TEL(072)992-0119
 FAX(072)992-7722
 刊行物番号R6-47

令和7年消防出初式



出初式

令和7年1月13日(月) 大阪府中部
 広域防災拠点において、新春恒例の八
 尾市消防出初式が挙行されました。

例年は、寒風吹きすさぶ中での開催
 や雪の舞う年もありましたが、今年は、
 晴天で風もなく、素晴らしい陽気とな
 りました。

式典は、大阪府消防局航空隊のヘリ
 コプターの祝賀飛行で幕開けし、国旗
 掲揚、消防殉職者の御霊に対する黙と
 う、徒歩部隊及び自動車部隊の分列行
 進と続き、大松市長の式辞と市議会議
 長の祝辞が行われ、山口消防長の答辞
 で締めくくられました。

その後、消防団の操法披露として第
 68回大阪府消防操法大会でポンプ車操
 法の部に出場した、北西方面隊の選手
 たちが、その技術を発揮し、見事、市
 民の皆様から盛大な喝采を浴びました。
 この式典を機に、八尾市の安心、安
 全を守るべく、日々の訓練、地域の防
 災活動に気を引き締めて取り組んでいく
 覚悟を改めてもちました。

初級指導

令和6年10月20日(日)、大阪府立消防学校において消防団幹部初級指導課程の講習があり、八尾市消防団より、曙川分団宮原部長、八尾分団竹田班長と私の3人で参加させていただきま

した。朝、学校に到着すると大阪府下全域より100人近い団員の方々がおられ、気が引き締まる思いでした。

開校式、午前中教室にて安全管理の座学に始まり、昼より放水、整列指揮、救助器具取り扱

いの訓練と、ほぼ丸1日充実した講習でした。改めて規律訓練等しましたが、足元がふらふらしたり、なかなか



なりました。

一番感心したのが、北大阪方面、南大阪方面の分団の方々は訓練場所に向かう時にも、集まれ駆け足進めと、きちんとかわ

われていて、「おお、なかなか気合入ってるよね」と、暑い、足痛いとおつづつ言っている自分が恥ずかしくなりました。ただこういう機会に参加させていただき、朝早くから本部関係のみなさんにお世話になり、ほかの地域の団員の方々と触れ合う機会をいただき、大変有意義な1日でした。ありがとうございます。この経験を、自身の今後の団活動並びに指導に活かしていきたいと思えます。

◆(龍華分団 山崎 聡)

秋季火災予防パトロール

令和6年11月9日(土)から11月15日(金)にかけて全国各地で秋季火災予防運動が実施されており、八尾市消防団の各分団においてもこの運動の重点目標でもある住宅防火対策、放火火災予防対策などの推進を念頭にそれぞれの管轄地域で夜間巡視パトロールを実施しています。



市民への防火広報や火災予防が主な目的で、放火などの防止にも役立っていると考えます。暖房器具の使用も秋から冬にかけて増えてくると思いますが、火災による災害のリスクも増えてくると思われます。

火災予防パトロールによって、地域住民の方々への周知を行うことによって、災害を最小限に収めることが我々の役割だと思えますので、地域全体の防災意識の底上げに繋がれば幸いです。



◆(西郡分団 平木 康晴)
(西郡分団 荒井 宏)

防災リーダー養成講習

令和6年11月10日(日)、八尾市内在住、在勤、在学(高校生以上)の方を対象に、大阪府中部防災拠点にて「令和6年度八尾市防災リーダー養成講習」が開催され、53名の方が参加されました。

当日は消防本部職員、消防団員、大阪経済法科大学学生消防隊(SAFETY)が消火訓練や救命講習などの実技の指導と危機管理課職員の方によるHUG(避難所運営ゲーム)が行われました。



私たち曙川分団は消火訓練を担当させて頂きました。講習会参加者の方には可搬ポンプの取り扱い説明やホース延長、放水

撤収までの流れを実際に訓練させて頂きました。



訓練中は放水と停水時の注意やホースの取り扱い方のアドバースに耳を傾け、終始、真剣に取り組んでいました。



今後、防災訓練の企画、立案や大規模災害時など、地域や企業等における「自助」「共助」の中核的存在である防災リーダーとして活躍されることを期待しています。

◆(曙川分団 岩元 雄亮)

秋季合同訓練

令和6年11月13日(水)八尾プリズムホールにて、防災訓練に参加しました。



当日は非常に天気もよく、また、各種消防車、救急車も活動しており、見学に来られている方々から、歓声が聞こえるほどでした。小さなお子さん達は大喜びでした。

この訓練を機に、市内の防災意識が高まれば良いと思います。



◆(八尾分団 中村 道弘)

署団合同ポンプ操法

令和6年11月17日(日)大阪府中部広域防災拠点において、八尾市消防団、消防職員合同のポンプ車操法放水訓練が行われました。

八尾市消防団22分隊と消防職員1隊より各6名が参加し日頃の訓練の成果を競い合いました。



この訓練では、建物に見立てたドラム缶などの障害物を避けながら2箇所の火点までホースを延長し、ミスなくより早いタイムで火点の的を落とす操法で、6名の連携と分団長の適切な指示が重要です。

北西方面隊からは萱振分隊、久宝寺分隊、西郡分隊、亀井分隊が参加しました。

火点を落とすまでのタイムに減点ポイントを追加した合計タ

イムを少なくする事を目標に行います。



久宝寺分隊は最も早いタイムで終了できました。それは嬉しいことですが、署長の講評でタイムも重要ですが「安全、確実、迅速」な活動が最も大切という指摘をいただきました。火災現場では、「安全」が何よりも優先されます。来年はより安全に確実な操法で、最高のタイムを出せるように訓練を重ねていきたいと思ひます。

◆(久宝寺分団 松田 孝志)



東中学校区ふれあい祭り

令和6年12月1日(日)、八尾市立東中学校でふれあい祭りが開催され、消防団もお手伝いさせていただきました。

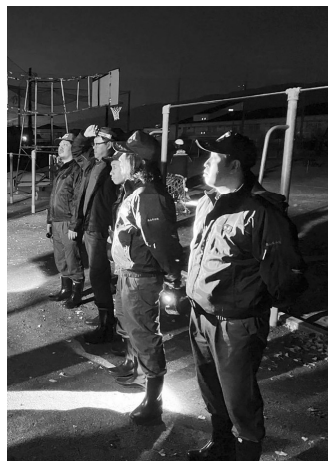
コロナ禍の影響で東中学校での地域イベントが中止のまま再開されずにいた中、中学校PTAさんが中心となり地域の方々の協力のもと、久々のイベント開催となりました。

地域の子どもたちが楽しい思い出を作ってほしいと、小学校、中学校合同開催となり、昼間は小学校グラウンドで、屋台やミニSLを走らせたり、ステージでは子どもたちのダンスパフォーマンスや、小太鼓を担いで練り歩くなど盛り上がりました。

そして夜は、中学校グラウンドで花火の打ち上げ。プロの花火師さんによる打ち上げ花火は圧巻でした。



花火の打ち上げを安全に行えるように周辺警備や、いざという時に動けるように消防車の準備など消防団で協力させていただきました。



火災や災害時に活動するのはもちろんですが、日頃からの地域の方々との関わりも大切だと考えています。

災害が起こった時、地元の消防団が地域の方々と連携し、情報を消防本部の方に伝える事も重要だと考えるからです。

日々の訓練も必要ですが、地域との情報共有できる関係性を深める事も大事です。消防団として、地域の安心安全を守り、地元を盛り上げる活動にも協力していきたいと思ひます。

最後に、地域の方々から信頼され、子どもたちからは憧れの消防団でありたいと考えています。

◆(山本分団 藤本 雄太)

歳末特別警戒

令和6年12月29日(日)、30日(月)に、八尾市全域で歳末特別警戒を実施しました。

29日は八尾市内全分団への団長激励と巡視があり、松村団長から「より一層地域の防災力の創造に向けて尽力していただきたい」又、大松市長からも、日頃の団活動の感謝の言葉と歳末警戒への激励の言葉をいただきました。

大正分団は12月に週1回管内の警戒と29日と30日の歳末特別警戒を行い、年の瀬の火災予防を呼びかけました。



防火水槽点検

防火水槽の所在の記載がある地図を、消防本部消防団係の方に用意していただき大正分団管内の地図の編集を行いました。



防火水槽の所在位置をマーキングしています。



防火水槽の所在を確認しました。



編集した地図を太田と木の本の各屯所に配備しました。

大災害時は消火栓水利が使えなくなり、防火水槽水利と自然水利が必要です。

今回の地図の編集により、団員が大正分団管内の状況をしっかりと把握して、地域の方に安心していただけるよう活動していきます。

◆(大正分団 今仲 幹夫)
(大正分団 山内 聡)

とんど焼き

令和7年1月18日(土)、管内の八尾市消防本部志紀出張所横のプレイロット広場にて、とんど焼きが開催され飛び火等の警戒を行いました。



例年は風が強く火の粉が飛び近隣への注意が必要なのですが、今年は天候に恵まれ風もなく無事終えることができました。

当分団の新団員にとっては、初の消火活動となり先輩団員の指導の下、迅速かつ正確に放水をはじめ、火の気が無いことを確認し消火作業を終えます。

最近では、しめ縄等を飾るご家庭も減少したように思います。年々火柱が小さくなってきた様な気がして少し時代の流れを感じます。



自治会、子供会、壮年団が中心となり、我々消防団も安全と防火活動を目的に毎年恒例の行事となっております。

地域の方々の安全、安心を消防団員として守っていきけるように活動し、これからも精進を重ねて参ります。

◆(志紀分団 井形 肇)

文化財消防訓練

令和7年1月23日(木)、神宮寺感應院にて文化財消防訓練が行われました。

第一部として、寺院の関係者による通報や初期消火の練習、逃げ遅れた人の誘導や文化財の搬出訓練等が行われました。



その後第二部として、通報を受けて出動した消防隊員の方々により要救助者の捜索、救助、搬送等が行われ、消防団員も到着後速やかにホース延長を行い、指揮本部からの指示に従い一斉放水での消火訓練が行われました。

火災の多くは不注意や気の緩み等で起こると言われますが、どれだけ注意していても完全に防ぐ事は出来ません。



今回は、文化財に特化した訓練でしたが、市民の皆さんも今後、多種多様な訓練に参加することで有事の際に少しでも冷静に行動できる良い経験になると思います。

また、私達消防団員にとっても今回の訓練は、人命救助を最優先にしながらも可能な範囲で文化財等を保護する事も必要だと改めて認識させられる訓練になりました。



◆(南高安分団 馬谷 康大)

自主防災訓練

令和7年2月9日(日)、高安小中学校にて、自主防災訓練を実施しました。今回は消防署高安出張所の協力のもと、高安地区まちづくり協議会、各自治会、消防団員の参加により実施することができました。訓練には各地区から高安小中学校まで徒歩で来ていただき、災害が起きた際にルート上で危険な所はないかどうかの確認を行っていただきました。

訓練の内容は、放水訓練、応急手当、応急担架作製、消火器を使った初期消火、煙中体験を行いました。



放水訓練はプールで可搬ポンプを使用して行い、消防団員による可搬ポンプの取り扱い方や実演、可搬ポンプの設置場所の説明などを行った後、実際に自治会の方々にも操作や放水を体験していただきました。放水は思った以上の圧力がかかるため、実際に放水を体験した人からは、貴重な体験ができたという声を聞かせていただきました。



災害はいつ起きるかわかりませんが、この訓練のように防災に対する意識を高めていることで、実際に災害が起きた際にどのようなことができるかなどを考える機会となり、行った訓練を活用し役立てていけると思います。

◆(高安分団 竹本 亮太)

出初式アナウンサー

私は令和3年4月、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、八尾市消防団女性分団に入団しました。

世間も普通のことだと思っていたのに、まさかこんな最中に、やはり消防団の活動も制限されていました。任命式や出初式も中止の嵐です。出初式はいつ参加できるのかと思ひ募らせ、今年は念願の初参加。しかもポンプ車操法のアナウンスまでさせていただきました。

八尾市民を守るために日々訓練された皆さんの訓練披露を、状況アナウンスできたことは、貴重な体験であり、出初式の一コマになれたことはとても光栄でした。これからも、勉強しながら楽しく活動させて頂きたいと思ひます。



◆(女性分団 川口 敬子)

編集後記

私のような頼りない委員長で何かとご迷惑をお掛けした部分多々あったかと思ひますが、広報部員の皆様そして消防団係の皆様のおかげで第50号51号が刊行することができました。素晴らしい経験をさせていただき感謝します。また、これからの広報部会の益々の活躍を期待しております。

委員長 竹内 孝太郎

この度、火の見櫓第50号51号の発刊にあたり副委員長を務めさせて頂きました。委員長をはじめ、各方面の素晴らしいメンバーと消防団係の皆様のおかげで素晴らしい記事を書き上げることができました。皆で同じ方向を向き良いものを作り上げるぞ!と、いう覇気は今後の消防団活動におきましても大変プラスになると感じております。これからも広報部会のご活躍と火の見櫓の発刊を楽しみにしております。

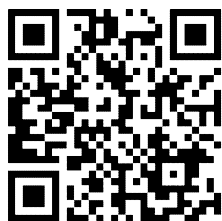
副委員長 宮原 雄真

広報部員の皆様と消防団係の皆様への支えもあり、副委員長という大役を務め上げることができました。有り難うございました。火の見櫓の発刊は市民の皆様にも消防団活動を深く理解頂く為の大切な冊子です。その活動に携われた事は消防団員として大変誇らしく思ひます。広報部員の今後の更なる活躍と、火の見櫓の発刊を楽しみにしております。

副委員長 巽 純也

動画掲載のお知らせ

令和6年9月8日(日)に、大阪府消防学校で実施されました大阪府消防大会ポンプ車操法の様子が、八尾土木事務所公式YouTubeにアップロードされています。※左のQRコードを読み取ると動画にアクセス可能です。ぜひ一度、ご覧ください。



八尾市消防団の大阪府消防大会に密着

令和7年度 消防団行事予定

- 4月 消防団員任命式
- 恩智川水防訓練
- 5月 大阪府地域防災総合演習
- 初任基礎教育訓練A課程
- 6月 初任基礎教育訓練B課程
- 7月 中河内地区支部消防総合訓練
- 8月 女性団員研修会
- 9月 大阪府消防大会
- 全国女性消防団員活性化大会
- 11月 消防総合訓練・秋の火災予防運動
- 消防署・消防団合同放水訓練
- 12月 大阪府消防女性消防団員連絡会議
- 歳末特別警戒
- 1月 消防出初式・文化財訓練
- 2月 水防視察研修・消防団充実強化研究会
- 3月 春の火災予防運動・消防記念日式典
- 大阪府消防表彰式・資機材取扱い訓練

広報部員名簿

委員長	高安分団	竹内 孝太郎
副委員長	曙川分団	宮原 雄真
	南高安分団	巽 純也
委員	久宝寺分団	岩本 暢宏・松田 孝志
	西郡分団	平木 康晴・荒井 宏
	八尾分団	竹田 英夫・中村 道弘
	龍華分団	佐々木 祐介・山崎 聡
	大正分団	今仲 幹夫・山内 聡
	曙川分団	岩元 雄亮
	南高安分団	馬谷 康大
	高安分団	竹本 亮太
	山本分団	川西 明・藤本 雄太
	志紀分団	藤木 達哉・井形 肇